

高森高等学校 進路通信 1年生版

～ 進路希望の再確認の時期 ～

9月になりました。学校行事や部活動の代替わりなどもあり、なかなか学習に集中できにくい時期です。しかし、「就職」か「進学」といった大まかな進路希望の最終決定の時期でもあります。10月には進路希望に合った2年次の科目選択最終決定もあるので、家族でしっかり話し合ってください。

「就職」する？ 「進学」する？ 選択の最終チェック

○高森高校の進路状況（平成26年度～平成28年度）

進路	H26 卒業生	H27 卒業生	H28 卒業生	1年生4月 希望
大学・短大	4	8	4	25
専門学校等	14	10	6	
就職	15	20	12	12
公務員	0	1	0	
未定	0	0	0	6

卒業生の進学と就職は、ほぼ同数でしたが、1年生は進学希望が多くなっています。

○進学、就職の主なメリット、デメリット

大学進学のメリット・デメリット	就職のメリット・デメリット
・ 専門知識を学べ、資格が取れる	・ 現場で専門知識を身につける
・ 一般的に生涯賃金が高い	・ 一般的に初任給が低い
・ 自由なことに時間を使える	・ 早く社会で活躍できる
・ 学費がかかる(奨学金制度あり)	・ 学費がかからない
・ 一人暮らしには経費がかかる	・ 一人暮らしに寮や補助がある

進学のために様々な奨学金もありますが、家族の経済的支援が必要です。

○進路希望調査の機会に家族で進路を考えてみる

「入試は2年以上も先の話だから」とまだまだ進路を真剣に考えていない人が多いかもしれません。しかし、進路希望をもとに2年次の教科選択を決定し、さらに進路希望と教科選択をもとに2年次のクラス分けを行います。そのため、今回の進路希望調査は今後の方向を決めるとても大切な調査になります。

この機会に、将来のこと、高校生活のこと、進路のことなど、家族でいろいろ話し合ってみてください。

9月1日
進路希望調査



10月
2年次の科目選択調査



1月
クラス分け検討

就職？ 大学進学？ 専門学校？ それによって強化すべき教科が異なる。それを元にクラス分け。

大学進学を考えている

大学は、学術的・理論的な学問を学ぶとともに、幅広い教養を身につけるための教育を行う教育機関です。高校までとは違い、必修科目と自分の興味に合わせた科目を選択し、自分好みの時間割を作っていくのも大学の特徴の一つ。

<主な学部> 文系・・・法学部・経済学部・文学部・教育学部
理系・・・理学部・工学部・農学部・薬学部・医学部
<入試方法> AO入試、推薦入試、一般入試（前期・後期）

一般入試は大学入試センター試験と志望大学の個別試験で合否が決定されます。一方、AO・推薦入試では、「試験」だけでなく「活動実績」を重視しています。何を学び、部活動だけでなく、資格取得や体験等どんな活動をしたかで勝負します。本校の先輩の多くは、このAO・推薦入試を利用して合格しています。

専門学校進学を考えている

専門学校は、主に職業教育を行う機関です。特定の職業に必要とされる知識・技術、資格を身につけるためのカリキュラムが用意されています。同じことが学べる大学・短大と専門学校がありますが、国の設置基準の厳しい大学・短大の方が施設が整っていることが多く、また、就職後の給与にも差があることが多くなっています。

<主な系統> 工業・商業実務・医療・衛生・文化・教養・教育
社会福祉・服飾・家政・農業など

就職を考えている

本校生徒の就職決定率は100%で、さらに本校への求人数は増えています。しかし、「職種」別に見ると求人数に差があり、必ず希望の職種に就職できるとは限りません。また、近年は高校を指定して求人を行うのではなく、職安のHPを介した「WEB求人」で広く求人を行う企業が増え、「入社選考」試験が厳しくなっています。

<入社選考で重視される事項>
学力・出欠状況・資格や表彰・ボランティア活動・部活動

公務員を考えている

公務員試験は、一次試験（教養試験＋適性検査）と二次試験（作文や面接など）があります。現役高校生にとっては、まず倍率の高い一次試験に合格することがとても難しくなっています。教養試験の問題は、政治経済4問、日本史2問、世界史2問、物理2問、化学2問・・・のように、各分野数問ずつ出題されます。そのため、本校の学習科目全てが重要で、定期考査成績も上位をとれる学力が最低限必要です。